

新年 賀 謹



《 新年のご挨拶 》



第十一特科隊長
一等陸佐 柴田 慎一

十一特OB会、やまぶき会をはじめ協力諸団体、そして隊員ご家族の皆様、新年おめでとうございます。皆様とともに、無事新たな年を迎えられますことをお慶び申し上げます。

さて、令和四年三月に本職を拝命し、これまで統率方針「女神らしく」要望事項「考えて前へ」を掲げ、「HEY! HEY! HEY! 砲兵!」を合言葉に隊務遂行に邁進して参りました。この間、第十一特科隊訓練検閲をはじめ、北海道演習、職種機能強化等の各種演習において「戦場の女神」を目指して戦技を練磨する他、結節時の即動点検や山地機動訓練等を実施して、あらゆる任務に即動必遂すべく練成を重ねて参りました。

また、「地域の女神」を目指して、三年ぶりに防災懇談会を開催するほか、地方自治体主催の防災訓練、お祭りなどに参加させていただきました。コロナ禍にあっても、関係充実を図れたものと存じております。

令和五年におきましても、あらゆる任務に万全を期すため、刀を磨き続けるとともに、十一特OB会、やまぶき会をはじめ、隊員ご家族、応援していただいている皆様、そして地域の方々の信頼に応え得る、部隊の創造に励む所存でありますので、今後ともご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

最後に、この一年が皆様にとって幸多き、実りある年となりますよう心より祈念いたします。



十一特OB会
会長 森田 和宏

第十一特科隊の皆様、その御家族並びに、協力団体の皆様、新年おめでとうございます。良き歳であります様にご祈念申し上げます。

さて昨年もコロナは終息せずにマスク生活や諸々の制約が日常となりましたが、徐々にトンネルの出口が見えてきた感じはありますね、しかし油断せずに頑張りますよ。

また、自然災害は世界において過去にないレベルで発生し、大きな被害を及ぼしました。これは、地球からの警告として受け取るべきでしょう。

安全保障についても領土・民族・宗教等の問題が山積みそのままです。

国防の要である自衛隊への帰隊は、益々昂まって行く一方で、それに応えるために成すべき事は、これまで以上の要求を満たさなければなりません。

砲兵はゲームチェンジャーです。訓練精鋭な特科部隊は、まさに女神として存在します。特科隊の皆様、隊長を核心とされ仲間を思いやり健全な部隊を作り上げ、厳しく役立つ訓練に精進して下さい。

ご家族のご理解と協力団体の皆様のご声援と共に、OB会もご支援させて頂きます。最後に皆様方にとって良き一年であります様に重ねてお祈り申し上げます。

発行所
11特OB会
連絡先
札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊広報課
TEL (011) -581-3191
内線2645
印刷
札幌造型合同会社

主な記事

- 二面 隊区市町村長・協力諸団体挨拶
- 三面 副隊長・各中隊長等挨拶
- 四面 新婚さん・新生児・退官者の紹介
- 五面 年男・年女抱負の紹介
- 六面 令和四年度北部方面隊総合戦闘力演習参加等
- 七面 令和四年度小樽総合防災訓練等
- 八面 写真で振り返る特科隊の一年



年頭の挨拶

第十一特科隊の皆様

輝かしい新春を迎えられ

益々のご発展とご多幸を

祈念いたします



古平町長
成田 昭彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます

第十一特科隊の隊員皆様の

一層のご精進と貴隊の益々の

ご活躍をお祈り申し上げます



積丹町長
松井 秀紀

輝かしい新春を迎え

第十一特科隊の隊員皆様の

ご活躍とご多幸

そして貴隊の益々のご発展を

お祈り申し上げます



余市町長
齊藤 啓輔

第十一特科隊の皆様

謹んで新年のお慶びを申し上げます

第十一特科隊の皆様

御発展と御多幸を祈念いたします



赤井川村長
馬場 希

第十一特科隊の皆様

謹んで新年のお慶びを申し上げます

自衛隊は日本の宝です

御発展と御多幸を祈念いたします



自衛隊小樽協力会
会長
大川 久美子

令和五年の新春を迎え

謹んでお慶び申し上げます

世界の平和のため益々の

ご活躍をご祈念申し上げます



余市町自衛隊協力会
会長
中山 尚志

第十一特科隊の皆様

謹んで新年明けましておめでとうございませ

いつも安心・安全な生活が出来ることに

感謝しています

本年も宜しくお願い申し上げます



公益社団法人 自衛隊家族会
札幌自衛隊家族会理事
小樽支部長
水野 政明

謹んで新年のお慶び申し上げます

第十一科隊の皆様と御家族様の

益々の御発展と御多幸を

お祈り申し上げます



公益社団法人 自衛隊家族会
札幌自衛隊家族会理事
余市支部長
青山 由明

謹んで新春のお慶びを申し上げます

第十一特科隊の皆様

益々のご活躍とご多幸を

心からお祈り申し上げます



公益社団法人 隊友会
札幌地方隊友会
定山溪支部長
張替 正敏

第11特科隊 副隊長・中隊長、最先任上級曹長から新年のご挨拶



第十一特科隊副隊長
二等陸佐 浅野 正仁

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。
本年も国民の皆様のご期待に応えるよう、隊一丸となり精進に邁進して参りますので、何卒変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、令和五年が良い年となりますことをご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



第十一特科隊
最先任上級曹長
准陸尉 荒川 努

隊員ご家族、十一特OB会、そしてやまぶき会をはじめ協力諸団体の皆様、本年が皆様にとって輝かしい一年でありますように心から御祈念申し上げます。また、平素より皆様からのご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。
隊長の要望事項「考えて前へ」を実践し、土特科隊が戦場の女神となり、旅団の新たな戦い方の主役となるよう日々、隊務に邁進しています。
引き続き皆様からの、ご支援・ご協力に感謝し、砲兵魂を継承していく所存です。
本年も宜しくお願い申し上げます。

Hey! Hey! 砲兵!



第十一特科隊長
一等陸尉 富田 智之

迎春2023
謹んで新春の祝詞を申し上げます。旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。
本年も「愛♡絆」を胸に隊員とともに日本一の本部管理中隊を目指して精進します。



本部管理中隊
先任上級曹長
准陸尉 天満 和弘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年も、中隊長を核心として、仲間を思う「愛」、仲間を信じる「絆」を胸に中隊一丸となつて、より一層任務に邁進して参ります。何卒変わらぬご指導を賜りますようお願い致します。



愛♡絆



第一中隊長
一等陸尉 谷 敏臣

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。
本年も引き続き、中隊長の精進に努めて参ります。皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



第一中隊
先任上級曹長
一等陸曹 船木 誠

明けましておめでとうございませう。昨年度は責任と立場の重要性を改めて痛感する日々でした。初心を忘れることなく「原点回帰」「活模範」で行きます。



第二中隊長
三等陸佐 岩塚 祐治

謹んで新春のお祝いを申し上げます。旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。
本年もより強靱な中隊となるべく励んで参りますので、よろしく申し上げます。



第二中隊
先任上級曹長
陸曹長 津久井 源揮

明けましておめでとうございませう。前年8月に上番いたしました。中隊長要望事項でありました「強靱」を具現徹底できるよう誠心誠意全力で任務に邁進する所存です。本年もよろしくお願いたします。



精強



第三中隊長
三等陸佐 江嶋 宏次

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様から格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
今年も、これまで以上に中隊一丸となつて任務に邁進します。よろしく申し上げます。



第三中隊
先任上級曹長
陸曹長 続池 悟

明けましておめでとうございませう。中隊長要望事項「貫徹」を実行するため、より一層団結力のある中隊を目標に精進いたしますので、今年もよろしくお願いたします。



挑戦 第11特科隊第3中隊

新婚さん・新生児・退官者の紹介

防人としての勤務 お疲れさまでした

「コロナに負けるな」前を向こう！ 幸せいっぱい隊員達の声をお届けします！



宮川准尉
4. 9. 21付

自衛隊生活を通じて、様々な事があり素晴らしい人生経験をする事ができました。
原隊である第十一特科隊第一中隊で、定年退官を迎えられ光栄に感じております。
最後に、皆様の益々のご発展とご多幸をご祈念いたしまして定年退官の挨拶とさせていただきます。
ありがとうございます。

退官者紹介



福島准尉
4. 12. 30付

長きにわたる防人としての勤務を無事に、終えることが出来ました。この間上司・同僚・後輩等多くの方々に支えられ、励まされ、多くの事を学び、成長することができました。この場をおかりして、感謝を申し上げます。最後に皆様のご発展を祈念いたしまして、退官の挨拶とさせていただきます。



勝谷准尉
4. 11. 23付

自衛隊勤務を通じまして、北海道という大地で色々な経験をさせて頂きました。
これからの人生においての宝となります。
これまで支えて下さった方々に感謝をお礼申し上げます。
皆様におかれましては、お体に留意ください。ご活躍を願っております。
誠にありがとうございます。

幸せいっぱい 新婚さん



本部管理中隊 花ヶ前三曹
五月に入籍しました。これから互いの健康を第一に考え、二人で頑張っていきます。



本部管理中隊 柴田三曹 (旧姓川村三曹)
新年明けましておめでとうございます。
令和四年七月二十六日に入籍しました。特科隊内に柴田の名字が四人になりましたので下の名前と呼んでいただけましたら幸いです。(笑)これからも頑張りますので夫婦共々宜しくお願いいたします。

本部管理中隊 柴田三曹
新年明けましておめでとうございます。
令和四年七月二十六日に入籍いたしました。これからは、家庭と国を守る、良き夫、良き自衛官として、精一杯頑張ります！
柴田夫妻を宜しくお願いします。



第三中隊 里深三曹
令和四年度九月十六日に入籍しました。夫婦ともども健康に留意し、二人で支え合って幸せな家庭を築いていきたいと思っております。



第二中隊 萱沼三曹
私は、令和四年三月二十一日というめでたい日に結婚しました。今までは失うものはないにもありませんでしたが、私にもついに守るべきものが出来たので、いつまでも笑顔の絶えない家庭を作りたいと思います。



第二中隊 川畑三曹
令和四年五月二十六日に結婚致しました。毎日がとても充実し、幸せな日々を送ることができています。今後陸上自衛官として、また守るべき家族がいるので自覚を持って職務に邁進していききたいと思っております。



第三中隊 山本三曹
この度、令和四年五月二十二日に、第二子「岳」が誕生しました。我が家は、男の子二人なので元気いっぱい成長していけるように、妻とともに頑張っていきます。これからの子供達の成長が楽しみです。



第三中隊 今泉三曹
令和四年六月二十八日に第二子、長女「咲南」が誕生しました。笑顔の輝く元気な娘に育って欲しいです。



子は国の宝なり！ こんにちは赤ちゃん

本部管理中隊 渡邊三曹
令和四年八月十九日に第三子となる長女、咲葵(さき)が誕生しました。待望の女の子なので上のお兄ちゃん達と三人で全力で甘やかしていきたいと思っております。

年男さん・年女さんの紹介

今年は卯年(うさぎ)！飛躍を期待！隊員達の抱負をお届けします！

卯年 ～飛躍～



第一中隊 大久保二曹
日々、向上意識を持ち、新しい事にも挑戦する一年とする。また自らの目標に向けて継続して実施する「実行力」「精神力」の質を向上させる。



本部管理中隊 山川二曹
オンリーワンの自衛官人生、任務・仕事・プライベート等あきらめない強い気持ちと、何事にも前向きに挑戦する気持ちを忘れず目標に向かって邁進します。



第一中隊 江原二曹
令和五年、年男卯年として卯の様に軽いフットワークで勤務しようと思えます。昨年は大変、お世話になりました。今年もよろしくお願ひ致します。



本部管理中隊 渡邊士長
自衛隊2年目、良いことは自分で掴み取りに行く勢いで何事にも臆せず取り組んでいきたいと思えます。



本部管理中隊 力田三曹
明けましておめでとーございます！兔年という事で、跳ねて自分自身がレベルアップ出来るように頑張ります。



本部管理中隊 牛木三曹
浮足たずに三回目の年男は、疑念を捨ててどこまでも進化を続けていきたいと思えます。



第二中隊 長谷川三曹
皆さん、お疲れ様です。第2中隊長谷川(正)3曹です。安全第一で怪我をしない、させない様に頑張ります。



第一中隊 平井士長
さまざまな変化が起こる一年になると思うのでプライベートと仕事の両方でチャレンジし、公私共に充実した一年に出来る様に「何事にも目標を持って」取り組んで行きたいと思えます。



第一中隊 大坂三曹
年男を迎えるにあたり、目標をしっかりと持ち一年を頑張ります。ギリギリ輝く男になります。「最高ううだあ！」と叫びたい一年！ウキウキワクワクを増やします。



第一中隊 今村三曹
様々な変化が起きやすい今年の年男として、「千里の道も一歩から」と言われるように、成果に繋がる様に、コツコツ目頃から努力し、何事にもチャレンジして行く姿勢を心掛けて行きます。



第三中隊 市田二曹
年男を迎えて、特に思うことは無く、今まで通り家族との時間を作ることを第一に考え、それを継続できるように健康面を特に気を付け、日々仕事と向き合っていきたいと思えます。



第二中隊 石田士長
年男ということ、今年により多くのことに挑戦し成長していけるよう日々努力していきたいと思えます。



第二中隊 松原士長
今年も年男としても、初級陸曹としても実のある一年になるよう精進いたします。よろしくお願ひいたします。



第二中隊 本宮三曹
残り少ない十一特勤務を中隊に恩返しする意味を込めて常にチャレンジ精神で全力で臨みたいと思えます。



第三中隊 佐藤三曹
一度きりの人生、後悔しないように生きていくためにも、プライベートと仕事の両面で、兔のように走り回ります。



第三中隊 戸倉三曹
人生三度目の年男となりまして、今から良いことが起きないかワクワクしているところです。家族共々頑張ります。

皆さん
おめでとうございます。
ごぞいませ。

令和四年度北部方面隊 総合戦闘力演習参加

隊は、令和四年八月二十四日(水)から九月四日(日)までの間、北海道大演習場及び真駒内駐屯地において、令和四年度北部方面隊総合戦闘力演習に参加した。

本演習は、旅団の対着上陸作戦における情報と障害と火力の連携要領について演習し、旅団及び各連隊FSCCにおける火力調整、指揮幕僚活動の練度向上を図る目的で行われた。

防衛準備では、計画に基づき各種掩体等を構築したほか、敵偵察衛星等による情報収集活動への対応、火力戦闘に向けたミッショソリハーサル等を行い、強固な戦闘態勢を確立させた。また、上空からの脅威に備え、ドローンの活用による偽装効果・陣地内状況確認を実施し、陣地の補備強化・秘匿に努め、消耗の局限を図った。

火力戦闘では、火力調整所を中心として情報及び障害と密接に連携した迅速な火力の発揮を実施し、射撃部隊においてはSSC方式(射撃、移動及び掩護を組み合わせた戦い方)による健在性の向上により、戦闘の終始を通じて、継続した射撃を行った。

本演習は、雨天に加え、寒暖差の厳しい環境下での任務となったが、隊員の士気は高く、それぞれが使命感を持ち、任務を完遂し、一件の事故もなく、実りのある訓練にすることができた。



▲頻繁な小移動による継続的な火力戦闘



▲火力調整所の指揮を執る隊長



▲対特殊武器防護をしつつ戦闘を継続



▲第二中隊の指揮を執る第二中隊長



▲対空戦闘予行



▲自衛警戒戦闘予行

令和四年度 職種機能等強化(特科)

隊は、令和四年十月二十四日(月)から十一月二日(水)までの間、矢別演習場において実施された、令和四年度職種機能等強化(火力)に参加した。

本訓練は、情報と火力の連携強化を図るとともに、観測機関の標定能力の向上、領域横断火力の発揮要領を演習する目的で行われた。

三十日から開始された一連の状況下では、各情報部隊等からの敵情報を迅速に収集し・処理し、火力により敵を減殺するなど、強靱な継続した火力戦闘を行った。また、隊の観測斥候は、敵砲迫陣地等に潜入して、目標の捜索・標定活動を行い、重要目標の撃破に寄与した。

訓練の終始を通じて、雨天、かつ、氷点下での厳しい気象条件下であったが、隊長を核心として特科隊一丸となり、これまで積み上げてきた成果を遺憾なく発揮し、所望の成果を得て任務を終えることが出来た。



▲第2科長による情報見積(写真左)



▲隊員の指導を行う隊長(写真左)



▲各観測機関へ運用指示



▲第2科による情報処理

令和四年度 旅団長射程射撃訓練

隊は、令和四年十一月十三日(日)から十一月二十八日(月)までの間、令和四年度旅団長射程射撃訓練を実施した。

本訓練は、隊の実弾射撃練度の向上及び、中隊実射検閲等の実施による団結の強化を図る目的で行われた。

旅団長射程射撃訓練では、各種射撃を行い、精度及び速度を向上させるとともに、十九日に行われた旅団長視察においては、旅団長による隊員の練度確認及び激励をいただき、隊員の士気は大いに高まった。

中隊実射検閲では、中隊長を核心として、一致団結し、これまでの練成成果を遺憾なく発揮することにより、所望の成果を獲得した。また、観測競技会では、各隊員は中隊及び個人の名誉をかけ競技に臨み、それぞれが練成で培った技術を発揮し、勝利を追求した。

本演習間、日中でも氷点下となる厳しい環境での訓練となったが、隊長要望事項「実戦的な行動の中で精度・速度の向上の為ベストを尽くせ!」「安全管理・健康管理」「団結の強化と士気の高揚に努めよ」を具現化すべく、積み上げてきた成果を遺憾なく発揮し、所望の成果を得て任務を完遂した。



▲観測による射弾の観測



▲隊長による訓示



▲火炮による実弾射撃



▲気象班による放球

令和四年度新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期教育総合訓練

隊は、令和四年九月九日(金)から九月十一日(日)までの間、北海道大演習場島松地区において、令和四年度新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期教育総合訓練を行った。

本訓練は、新隊員が野戦特科隊員として必要な知識・技能を修得するため練成した三ヶ月にわたる教育の集大成であり、その成果を確認する目的で実施された。

九日、新隊員は、二翁台地域において訓練開始式を実施するとともに隊容検査を受けて、訓練に臨む気概を示した。以後、陣地の偵察、火力戦闘及び築城を実施したが、新隊員は元氣瀉刺と初日の訓練を終えた。

翌十日には、築城の補備修正を行うとともに、火炮による空包射撃を整齊円滑に実施し、夜間進入準備、日没後の自衛警戒を実施して、後期教育で培った知識と技能を存分に発揮した。

訓練終了後、新隊員からは、「日頃の訓練成果を発揮できなかった。中隊配属後も全力で頑張ります。」と頼もしい感想もあり、その表情は達成感に満ち溢れ、多くの成果をもって有終の美を飾る事ができた。

新隊員二十六名は、九月二十二日(木)に、教育修了式を迎え、晴れて野戦特科の隊員として第十即応機動連隊火力支援中隊及び第十一特科隊の各中隊にそれぞれ配置された。



▲訓練開始式



▲陣地偵察



▲陣地進入



▲射撃を前に集中する新隊員達



▲空砲射撃

令和四年度小樽総合防災訓練

隊は、令和四年八月三十一日(水)、市民消防防災研修センターにおいて行われた、令和四年度小樽総合防災訓練に参加した。

本訓練は、大規模災害時の関係各機関等の連携強化及び市民の防災意識の高揚を図る目的で行われ、総勢約二百名が訓練に参加した。

当初、災害対策本部訓練を実施し、開発局と連携したドローンによる情報収集活動を行い、本部と災害現場のライブ映像の共有による、救助活動能力向上を図った。

要救助者訓練では、「豪雨の影響による貯水施設からの溢水・崖崩れの土砂災害」を想定として、小樽市から応急災害対策要請を受けた、第十一特科隊等が連携し、車両進入困難な地域での偵察用オートバイによる状況確認及び人命救助システムを使用した、救助活動等を行った。

本訓練では、特科隊の組織的な行動と迅速な救助活動の能力向上及び関係各機関との更なる協力態勢を強化させることができ、防衛基盤を確立することができた。



▲人命救助システムを使用した救助活動



▲ドローンによる現地偵察



▲偵察オートバイによる偵察



▲要救助者の搬送

令和4年度仁木中学校防災教育

隊は、令和四年十月六日(木)、仁木中学校(余市郡仁木町)において、自衛隊札幌地方協力本部(以下「札幌地本」という。)が実施する「防災教育」を支援した。

本防災教育は、自衛隊に対する理解の促進、魅力の発信及び札幌地本と連携した有為な人材確保を目的として行われた。

当初、学生達は体育館において、副隊長による災害時における対処要領等の防災講話を実施し、防災意識を高めてもらうとともに、傷病者の搬送要領について教育及び実習を実施し、傷病者発生時の避難要領について理解を深めた。

後段の教育では、屋外において、人命救助システム及び車両等の装備品展示を行い、学生達は、普段触れることのない装備品を前に、多くの質問や、「自衛官になりたいです。」との力強い言葉が発信され、大いに関心を寄せるとともに、自衛隊に対する信頼感の醸成に寄与することができた。



▲要員の紹介



▲副隊長による防災講話



▲装備品の展示説明



▲傷病者搬送要領の実習

写真で振り返る特科隊の一年(一月~十二月)



3 March 第八代第十一特科隊長 柴田1佐着任式



2 February 冬季山地機動訓練



1 January 訓練開始式



6 June 第十一旅団創立記念行事



5 May 特科隊検閲



4 April 第一回隊訓練



9 September 小樽総合防災訓練



8 August おたる潮まつり参加



7 July 新隊員後期教育



12 December 陸曹候補生履修前教育



11 November 秋季演習場定期整備



10 October 職種機能等強化(特科)

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。
手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行います。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 藪本

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。が、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなります。万が一ご本人がご逝去された場合は、死亡日を含め五日以内以最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡下さい。また、ご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

三 その他

第十一特科隊隊舎一階において第十一特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 米田